

| | | | | | | | |
|--|---|-----|------|---------|---------|-------|-----------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 地理学(CA113) | | | 担当教員 | 池永 正人 | | |
| 展開方法 | 講義(遠隔) | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の類型 |
| <p style="text-align: center;">テーマ：自然環境と人々の暮らし</p> <p>地理学は「地域」を対象とする学問であり、地域の自然は文化の地域的差異を規定する重要な要素である。その具体的な事例を取り上げて、自然の地域的多様性と法則性を説明し、自然環境と人間生活の係わりについて理解を深める。</p> | | | | | | | ② |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 自然環境と人間生活に関する用語や事象を理解し、国や地域の特性と問題点を指摘できる。 | | | | 随時試験 | 35% | |
| 情報収集、分析力 | 地図や統計グラフから現象を読み取ることができる。 | | | | 随時試験 | 15% | |
| コミュニケーション力 | 授業内容についての意見や感想、質問を述べるができる。 | | | | 総合問題 | 10% | |
| 協働・課題解決力 | 国や地域の自然や産業、歴史や文化に関心を抱き、毎回の授業内容の確認問題に取り組むことができる。 | | | | 総合問題 | 30% | |
| 多様性理解力 | 自然環境と人間生活の地域的多様性と法則性を理解することができる。 | | | | 随時試験 | 10% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 随時試験 60 点と総合問題 40 点を合計して評価する。毎回授業の初めに、前回確認問題の解答と質問・意見に対して回答を行う。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>この講義では系統地理学と地誌の学修法を併用して、国民あるいは地域住民が、自然環境・社会情勢にどのような形で対応し生活しているかを理解する。講義内容が十分に理解できるように、スライド・DVDなど視聴覚教材を用いて臨場感のある講義を行う。また、授業の質問・意見の回答は、ポートフォリオに掲載するとともに、次回の授業のはじめに解説する。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：なし。授業内容の要点を整理したパワーポイントをポートフォリオに掲載する。</p> <p>参考書：地図帳（高等学校の「地理」の授業で使用していたものでよい。）</p> <p>指定図書：淡野明彦編著『観光先進地ヨーロッパー観光計画・観光政策の実証分析ー』，古今書院，2016 年</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 授業内容の要点を整理したパワーポイントを用いて、必ず予習・復習をすること。また、長期休暇や休日には各地を訪れ、見聞を広めてほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|---------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1 | I 地理学とは | 地理学の定義、学問領域および分類について説明する。 | 予習：シラバスの読み 復習：地理学の学問領域 |
| 2 | II 世界の自然環境 大地の形成 | ウェーゲナーの大陸移動説、プレートテクトニクス理論について解説する。 | 予習：世界の大陸分布 復習：プレートテクトニクス理論 |
| 3 | 火山のしくみ | 火山の生成と分類について講義する。 | 予習：世界の火山分布 復習：火山の生成・分類 |
| 4 | 地震の発生 | 地震の発生メカニズムとエネルギーについて解説する。 | 予習：世界の地震分布 復習：マグニチュードと震度 |
| 5 | 気候の三要素 | 地域の気候を形成する三要素（気温・降水量・風）について説明する。 | 予習：世界の気候の特徴 復習：ケッペンの気候区分 |
| 6 | 台風のマカニズム | 世界最大の暴風雨である「台風」の発生メカニズムについて講義する。 | 予習：台風の発生分布 復習：台風発生・勢力 |
| 7 | III 主要国の社会情勢 ヨーロッパの 民族と国家 | 多様な民族から構成されるヨーロッパ諸国の特徴について解説する。 | 予習：ヨーロッパの地勢 復習：民族・言語・宗教 |
| 8 | EU の設立と拡大 | 国や民族の固有の伝統文化を生かしながら統合を進めるEUについて講義する。 | 予習：EU 設立の背景 復習：EU の問題点 |
| 9 | ドイツの風土と国民性 | 厳格で綺麗好きなドイツ人のゲルマン気質や社会・経済情勢について説明する。 | 予習：ドイツの地勢 復習：ゲルマン気質 |
| 10 | 環境大国ドイツ | 環境政策が国民生活にどのような形で反映されているかを解説する。 | 予習：自然エネルギー 復習：多様な環境政策 |
| 11 | 永世中立国スイス | スイスの自然・歴史・社会情勢について説明する。 | 予習：スイスの地勢 復習：永世中立国の経緯 |
| 12 | 観光立国スイス | アルプスの山岳観光について講義する。 | 予習：スイスの名所 復習：登山・スキー観光の成立 |
| 13 | 近代化が進む中国(1) | 著しい発展を続ける沿岸部の都市について説明する。 | 予習：中国の地勢 復習：改革開放政策 |
| 14 | 近代化が進む中国(2) | 都市発展と環境問題について解説する。 | 予習：中国の沿岸都市 復習：農民工 |
| 15 | IV まとめ | 自然の地域的多様性と法則性、自然環境と人間生活の係わりについて考察する。 | 復習：授業内容のパワーポイント（全14回） |